

# HSBC 世界資源 エネルギーオープン

追加型投信／内外／株式

## 交付運用報告書

第17期 (決算日2024年3月29日)

作成対象期間

(2023年3月30日～2024年3月29日)

第17期末 (2024年 3月29日)	
基準価額	13,604円
純資産総額	3,496百万円
第17期	
騰落率	30.5%
分配金(税込み)合計	300円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

▶当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、弊社のHP(ホームページ)で下記の手順でご覧いただけます。

<閲覧方法>

右記URLにアクセス⇒HP上部の「基準価額」を選択⇒当ファンドのファンド名称を選択⇒「運用報告書」を選択⇒「交付運用報告書・運用報告書(全体版)」の一覧の最新の運用報告書(全体版)を選択すると、当該運用報告書(全体版)を閲覧・ダウンロードすることができます。  
※将来、HPの見直し等により、閲覧方法が変更になる場合があります。

▶運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC 世界資源エネルギーオープン」は、2024年3月29日に第17期の決算を行いました。

当ファンドは、「HSBC 世界資源エネルギーマザーファンド」への投資を通じて、主に世界の資源・エネルギー関連の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指す投資方針に沿い、運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### HSBCアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング

«お問い合わせ先(投信営業本部)»

電話番号：03-3548-5690

(営業日の午前9時～午後5時)

ホームページ：www.assetmanagement.hsbc.co.jp

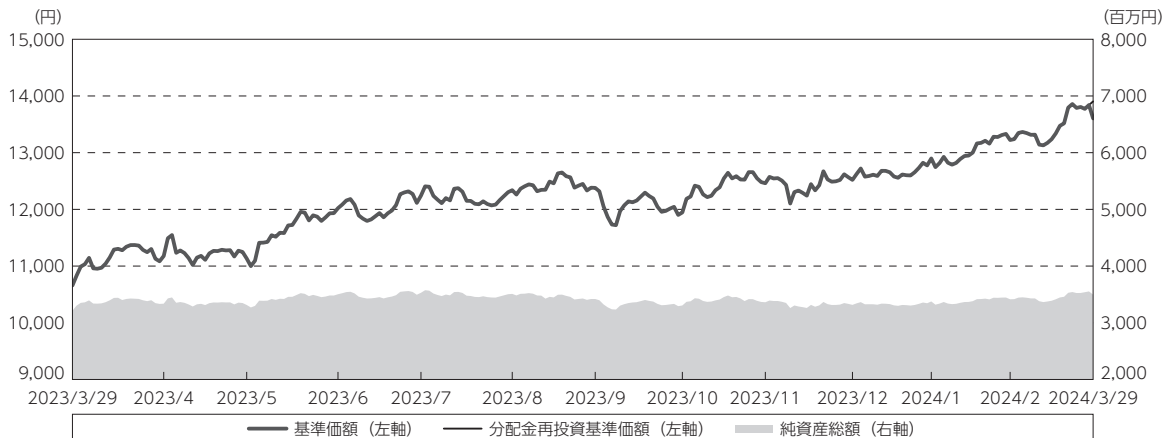


HSBC Asset Management

◆運用経過◆

基準価額等の推移について

(第17期：2023年3月30日～2024年3月29日)



期首：10,658円

期末：13,604円 (既払分配金(税込み)：300円)

騰落率：30.5% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2023年3月29日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

資本財のダイムラー・トラック・ホールディング(ドイツ)や三菱電機(日本)、エネルギーのINPEX(日本)、商業・専門サービスのウェスト・マネージメント・インク(米国)などを中心に株価が全般的に上昇したことが基準価額にプラスとなりました。また、為替相場において、米ドルやユーロなどが対円で上昇したこともプラス要因となりました。

## 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	213 (107) ( 93) ( 13)	1.760 (0.880) (0.770) (0.110)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価(運用委託先への報酬が含まれます。) 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	19 ( 19)	0.155 (0.155)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	1 ( 1)	0.010 (0.010)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( そ の 他 )	27 ( 20) ( 2) ( 5)	0.220 (0.162) (0.014) (0.044)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用 監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 振替制度にかかる費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用等
合 計	260	2.145	
期中の平均基準価額は、12,110円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

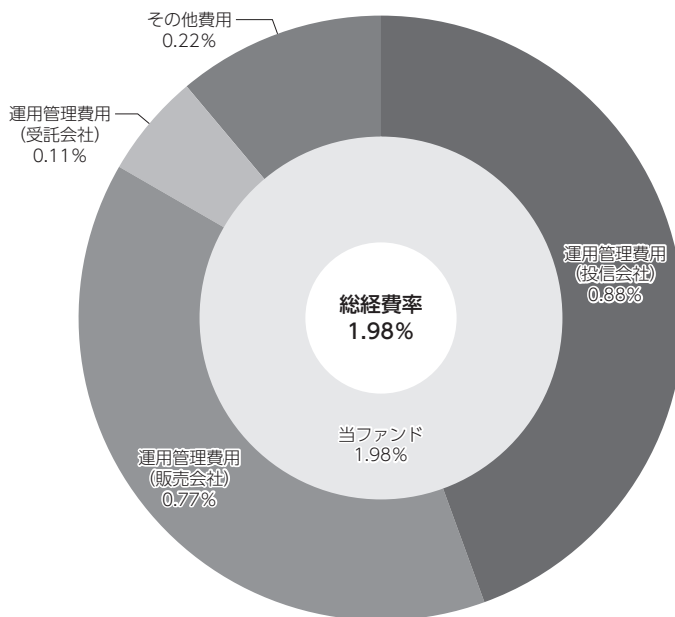
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.98%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

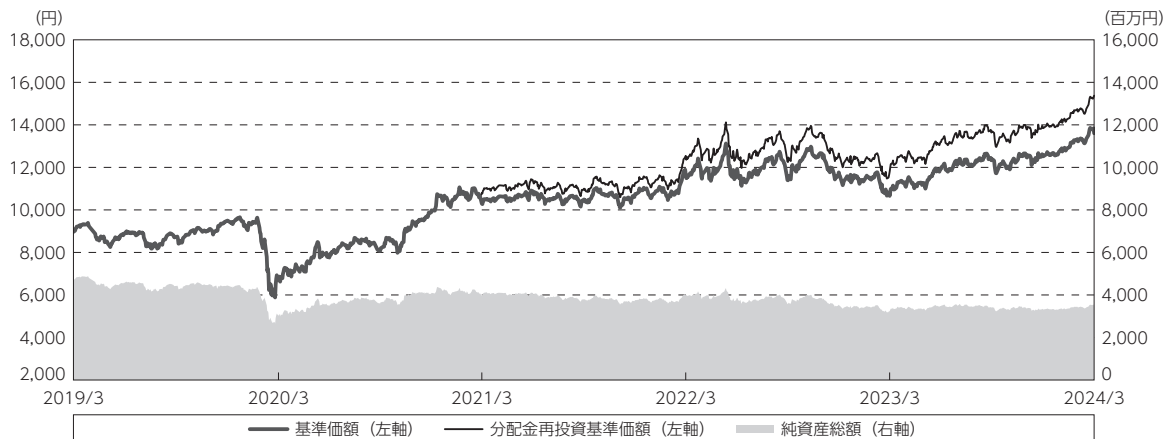
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について (2019年3月29日～2024年3月29日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 分配金再投資基準価額は、2019年3月29日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2019年3月29日 決算日	2020年3月30日 決算日	2021年3月29日 決算日	2022年3月29日 決算日	2023年3月29日 決算日	2024年3月29日 決算日
基準価額 (円)	8,969	6,692	10,296	11,663	10,658	13,604
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	500	300	300	300
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 25.4	61.3	16.2	△ 6.0	30.5
純資産総額 (百万円)	4,718	3,019	3,951	3,973	3,213	3,496

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。  
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
 (注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## 投資環境について

### 【株式市況】

当期の世界の株式市場は前期末比で大幅に上昇しました。期初から2023年7月末にかけては米欧における利上げ停止観測、中国の景気対策への期待などから値を上げる動きとなったものの、米国の長期金利の上昇や中東情勢の緊迫化に伴い10月下旬にかけては下落傾向に転じました。期末にかけては主要国におけるインフレの落ち着き、米国の利下げ観測、中国の株式市場支援策などを背景に上昇基調に転じました。

当期の国際商品市況は前期末比で上昇しました。期初から2023年5月末にかけては一進一退となり、方向感の定まらない展開となったのち、OPEC（石油輸出国機構）による減産などから9月中旬にかけては上昇傾向に転じました。その後、需要鈍化懸念に伴い12月中旬にかけては軟調な動きとなったものの、世界経済のソフトランディングへの期待などを背景に期末にかけては上昇基調に転じました。

### 【為替相場】

当ファンドの主要投資対象通貨である米ドルは、当期において対円にて前期末比で上昇しました。期初から2023年11月中旬にかけては日米金利差拡大により上昇基調となりました。その後、日銀による大規模金融緩和の修正観測に伴い2024年1月初旬にかけては下落傾向になったものの、堅調な米国経済、同国の早期利下げ観測の後退、日本の緩和的な金融環境は当面続くとの見方などを背景に期末にかけては上昇基調に転じました。同じく主要投資対象通貨であるユーロは、当期において対円にて前期末比で上昇しました。期初から2023年11月中旬にかけては日欧金利差拡大から上昇基調となりました。その後、日銀による大規模金融緩和の修正観測から12月中旬にかけては下落傾向に転じたものの、底堅く推移しているユーロ圏経済、日本の緩和的な金融環境は当面続くとの見方などにより期末にかけては上昇基調に転じました。

## ポートフォリオについて

### <HSBC 世界資源エネルギーオープン>

「HSBC 世界資源エネルギー マザーファンド」への投資を通じて、主に世界の資源・エネルギー関連の株式等に投資しました。

### <HSBC 世界資源エネルギー マザーファンド>

エネルギー価格や金属価格の変動とその関連セクターへの波及を考慮し、資源・エネルギー関連分野において選別投資を行いました。地域別では、北米の組み入れを高めに維持し、その他はアジア・太平洋や欧州の銘柄を中心に組み入れました。期首比では、西ヨーロッパの組入比率が低下した一方、南米の組入比率は上昇しました。業種別では、当期を通じてエネルギー、公益事業、資本財の組入比率を高めの配分としました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## 分配金について

当期につきましては、基準価額の水準・市況動向などを勘案し、300円（1万口当たり・税込み）とさせていただきます。

なお、留保益の運用につきましては特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

### ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第17期
	2023年3月30日～ 2024年3月29日
当期分配金	300
(対基準価額比率)	2.158%
当期の収益	300
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,663

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ◆今後の運用方針◆

欧米では、これまでの積極的な利上げから景気減速懸念が強まっており、企業業績の下振れリスクも高まっていると考えます。このため、世界の株式に対して選別的なアプローチを採用することで、当社では引き続き相応の株式の期待リターンを見込んでいます。

OPECとロシアなど非加盟の主要産油国で構成する「OPECプラス」による減産が原油価格を下支えし、当ファンドにとり好材料となる半面、欧米を中心に景気減速リスクが鮮明化した場合、国際商品市況が軟調になる可能性には留意が必要と思われるます。

### < H S B C 世界資源エネルギーオープン >

「H S B C 世界資源エネルギー マザーファンド」への投資を通じて、主に世界の資源・エネルギー関連の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

### < H S B C 世界資源エネルギー マザーファンド >

資源・エネルギー関連の幅広い投資対象の中から、収益性が高く、バリュエーションが割安な銘柄に重点的に投資をしています。なお、投資対象には、代替エネルギー、公益、食料品セクターも含まれています。

## ◆お知らせ◆

## 約款変更について

2023年12月27日付

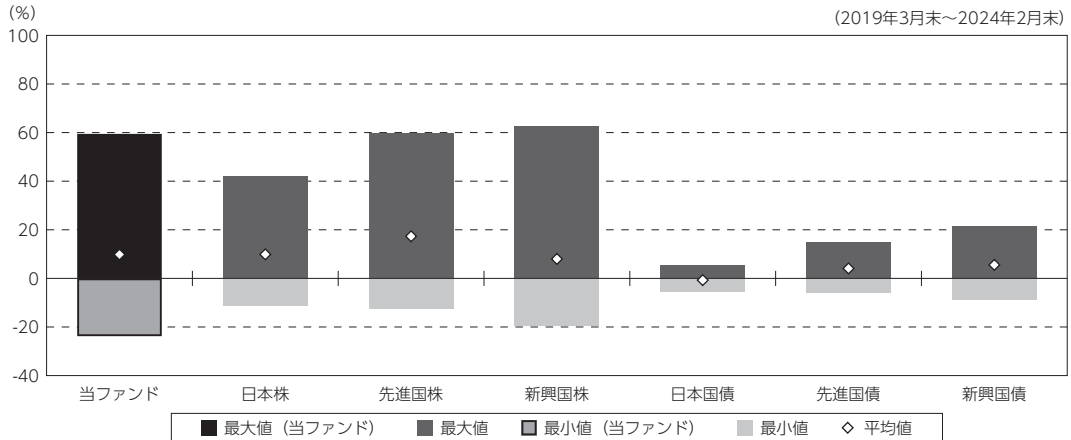
少額投資非課税制度の改正に伴い、デリバティブ取引の使用をヘッジ目的に限定する変更を行いました。

## ◆当ファンドの概要◆

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	H S B C 世界資源エネルギー マザーファンド受益証券への投資を通じて、主に世界の資源・エネルギー関連の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	H S B C 世界資源エネルギーオープン	H S B C 世界資源エネルギー マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	H S B C 世界資源エネルギー マザーファンド	主として、世界の資源・エネルギー関連の株式等に投資します。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式の実質組入比率は、原則として高位に維持します。</li> <li>・実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</li> </ul>	
分配方針	<p>年1回の決算時（毎年3月29日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。</p> <p>①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。</p> <p>③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	



## ◆ (参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較 ◆



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	59.5	42.1	59.8	62.7	5.4	14.8	21.5
最小値	△ 23.8	△ 11.4	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	9.8	9.9	17.3	8.0	△ 0.7	4.1	5.6

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2019年3月から2024年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

◆当ファンドのデータ◆

(2024年3月29日現在)

当ファンドの組入資産の内容

○組入上位ファンド

銘 柄 名	第17期末
H S B C 世界資源エネルギー マザーファンド	103.1%
組入銘柄数	1銘柄

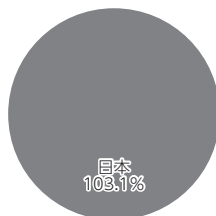
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

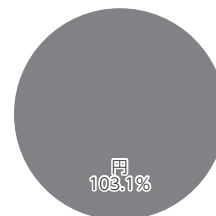
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。国別配分は、国・地域別による配分です。

○純資産等

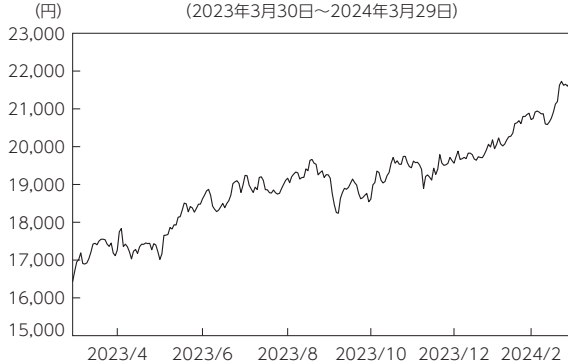
項 目	第17期末
	2024年3月29日
純 資 産 総 額	3,496,438,369円
受 益 権 総 口 数	2,570,185,939口
1万口当たり基準価額	13,604円

(注) 期中における追加設定元本額は179,852,941円、同解約元本額は624,603,195円です。

組入上位ファンドの概要

◆ H S B C 世界資源エネルギー マザーファンド (計算期間 2023年3月30日～2024年3月29日)

○ 基準価額の推移



○ 1万口当たりの費用明細

(2023年3月30日～2024年3月29日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	29 (29)	0.154 (0.154)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	2 (2)	0.010 (0.010)
(c) その他費用 (保 管 費 用)	30 (30)	0.162 (0.161)
(そ の 他)	(0)	(0.000)
合 計	61	0.326

期中の平均基準価額は、18,831円です。  
 (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

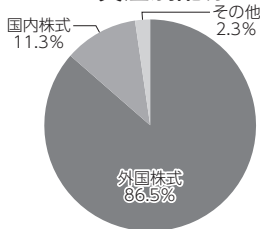
○ 組入上位10銘柄

(2024年3月29日現在)

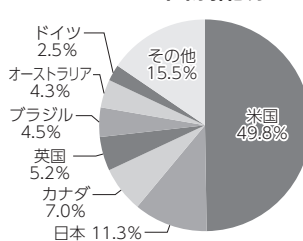
	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国(地域)	比率
1	MARATHON PETROLEUM CORPORATION	エネルギー	米ドル	米国	2.5%
2	HF SINCLAIR CORP	エネルギー	米ドル	米国	2.5
3	PHILLIPS 66	エネルギー	米ドル	米国	2.5
4	EXXON MOBIL CORP COM	エネルギー	米ドル	米国	2.5
5	ONEOK INC	エネルギー	米ドル	米国	2.5
6	DAIMLER TRUCK HOLDING AG	資本財	ユーロ	ドイツ	2.5
7	NATIONAL GRID PLC	公益事業	英ポンド	英国	2.5
8	DIAMONDBACK ENERGY INC	エネルギー	米ドル	米国	2.5
9	VALERO ENERGY CORPORATION	エネルギー	米ドル	米国	2.5
10	WEST FRASER TIMBER CO LTD	素材	カナダドル	カナダ	2.5
組入銘柄数			50銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。  
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。  
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

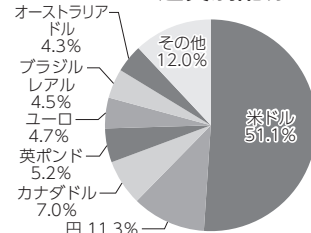
○ 資産別配分



○ 国別配分



○ 通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。  
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。国別配分は、国・地域別による配分です。  
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

## ◆指数に関して◆

### <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

#### ○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

#### ○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

#### ○FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。